

Aptima® カンジダ ヴァジナイティス / トリコモナス ヴァギナリス Assay (研究用試薬)



膣炎、膣症の原因微生物の分離・特定に関する研究は、女性へのより適切な医療に貢献します

膣炎・膣症は主に細菌性膣炎、性器カンジダ症、膣トリコモナス症が個別あるいは混合感染して引き起こされます。

混合感染と重複した症状は診断を難しくし、適切ではない治療につながる可能性もあります。

性器カンジダ症および膣トリコモナス症の検出法としては現在国内では主に鏡検法および培養法が使用されています。

・標準化された手法

自動化されたパンサーシステムを用いた核酸増幅検査は、検査結果の標準化に貢献します

・カンジダとトリコモナスを同時検出

膣炎、膣症の原因微生物と言われるカンジダとトリコモナスを同時に検出することができます

・一回の検体採取でマイコプラズマ・ジェネタリウムも測定可能

検体採取された一本の専用チューブからカンジダとトリコモナスだけでなく、マイコプラズマ・ジェネタリウムもあわせて測定することができます

※マイコプラズマ・ジェネタリウムの検出には「Aptima マイコプラズマ ジェネタリウム Assay」(認定検査試薬)が必要となります

・リボソーム RNA (rRNA) を検出する TMA 検査

・以下の微生物を検出する定性検査

- ・カンジダ菌種 (C. albicans, C. tropicalis, C. parapsilosis, および C. dubliniensis)
- ・ (Candida glabrata)
- ・ (Trichomonas vaginalis)



Aptima カンジダ ヴァジナイティス / トリコモナス ヴァギナリス AssayKit 100テスト

※ 本品は研究用試薬ですので、診断またはその補助目的としては使用できません。

Aptima Multitest スワブ採取セット

[採取]
部位：膣
採取器具：Aptima Multitest
スワブ採取セット



製造販売届出番号：13B1X10179002006

性器カンジダ症



75%の女性が生涯に一度膣炎・膣症を経験するといわれています。¹⁾



感染性の膣炎・膣症の原因の約25%が性器カンジダ症といわれています。²⁾



難治性の性器カンジダ症の場合、*C.glabrata*が原因菌になっているという指摘があります。³⁾



膣トリコモナス症



感染性の膣炎・膣症の原因の約15%が膣トリコモナス症という報告があります。²⁾



核酸増幅検査は感度が高く、鏡検に比べて3～5倍のトリコモナス感染を検出します。⁴⁾



海外では、帯下のケアが必要、あるいは他に症状のあるすべての女性に膣トリコモナス症の検査は実施される必要があるといわれています。⁵⁾



※参考文献

1. Goje OL. Advancing the Diagnosis of Vaginitis. CLPMag. 2020.
2. Paladine HL. Vaginitis: Diagnosis and Treatment. Am Fam Physician. Am Fam Physician. 2018 Mar 1;97(5):321-329.. Sobel J. Approach to emales with symptoms of vaginitis. UpToDate. Updated May 25, 2021. Accessed August 2021. www.uptodate.com
3. 性感染症 診断・治療 ガイドライン 2020
4. CDC. 2015 Sexually Transmitted Diseases Treatment Guidelines. <https://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/rr6403a1.htm>. Updated June 4, 2015. Accessed August 29, 2021
5. Workowski KA, et al. Sexually Transmitted Infections Treatment Guidelines, 2021. MMWR Recomm Rep 2021;70(No. RR-4):1–187. DOI: <http://dx.doi.org/10.15585/mmwr.rr7004a1>

Aptima® カンジダ ヴァジナイティス / トリコモナス ヴァギナリス Assay (研究用試薬)



ホロジックジャパン株式会社

〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-25 日教館ビル

TEL:03-5804-2340 FAX:03-5804-2321 <https://hologic.co.jp>